

「イオンレイクタウン」が環境部門 世界一に 日本初！国際SC協会「サステナブル デザイン アワード」最高賞受賞

イオンが運営する日本最大級のショッピングセンター（SC）「イオンレイクタウン」（埼玉県越谷市）は、世界80カ国のディベロッパーや商業施設オーナーなど約6万人もの会員を有す「国際ショッピングセンター協会（ICSC：International Council of Shopping Centers）」より、SCのデザインと建設において、サステナビリティ（環境および環境維持）が最も優れているSCに贈られる「Best of the Best サステナブル デザイン アワード」をこの度、日本のSCとして初めて受賞いたしました。

「Best of the Best」賞は、アジア、ヨーロッパ、カナダ、米国、ラテンアメリカの世界5つのエリアごとに予備選を行い、それぞれの地域で“金賞”として選ばれたSCの中から“世界一”が決められます。同賞には、「サステナブルデザイン」の他、「デザイン&デベロップメント」「マーケティング」「コミュニティ」の計4つのカテゴリーがあります。「Best of the Best」の日本のSCの受賞は、「イオンレイクタウン」が初となります。

「イオンレイクタウン」の受賞は、5月22日（日）から25日（水）まで、米国・ネバダ州ラスベガスにて世界のディベロッパーや関係者ら3万人以上が参加して開催中のICSC世界大会にてラスベガス時間の23日（月）に発表されました。

当大会において「イオンレイクタウン」はICSCから、SCに設置された「太陽光パネル」や「ハイブリットガスシステム」「電気自動車専用急速充電ステーション」など環境配慮型設備の導入のほか、エコアート展示など数多くの環境イベントの開催などの取り組みが他に類を見ない格別なSCであるとの高い評価をいただきました。

イオンは、この度の受賞を機に、より一層環境への取組を強化し、さらにお客さまにご満足いただけるSCを展開してまいります。



ICSC世界大会にてイオングループを代表して受賞のあいさつをするイオンモール株取締役会長の村上教行（右から2人目）

【イオンレイクタウン概要】

名 称：イオンレイクタウン

所 在 地：埼玉県越谷市東町4丁目21番地（k a z e）

2丁目 8番地（m o r i）

4丁目50番地（レイクタウンアウトレット）

敷地面積：339,885㎡

延床面積：393,916㎡

商業施設面積：245,223㎡

総テナント数：710店舗

SC運営主体：イオンリテール(株)、イオンモール(株)

オープン：2008年10月 2日（k a z e、m o r i）

2011年 4月29日（レイクタウンアウトレット）

<ご参考>

国際ショッピングセンター協会（ICSC）について

設 立 年：1957年

代 表 者：Michael P. Kercheval

会 員 人 数：ディベロッパー、リテイラー、投資家など約6万人

活 動 領 域：アジア、欧米などでのカンファレンスミーティングの主催

インターネットでの各種データの発信

定期刊行物等情報ツールの発行



イオンレイクタウン全景